

[全体スキーム]

現 状

社会状況

- パラダイムシフト(価値観の転換)、多様性の認知
- 新しい働き方の萌芽
- 今後のイノベーション(技術革新)

問寒別のネガティブな事柄

- 人口減少・高齢化
- 世代構成に偏り
- 基幹産業の酪農
- 担い手不足
(建設業、酪農業、地域活動)
- 雇用と住宅
- 商店の維持
- 徒歩生活者の移動の足

問寒別のポジティブな事柄

- 転入ポテンシャルの上昇
- 新たな起業、酪農の担い手
- 人の温かさやつながりが濃く、団結力がある、外からの人を受け入れる
- 北大研究林による交流人口
- 外の目の存在
- 住み続け意向
- 子どもは地域で育てる意識
- 身の回りの良さがいっぱい



課 題

- 住み続けと幸福度
- 新たな地域運営
- 若年層の移住・定住の促進と住宅供給
- 生活複合拠点・ネットワークづくり
- 持続的な産業
- 生活利便性の維持



問寒別の輝く将来像

“小さいからこそできる輝く未来を子ども達へ” “日本一、高齢者が健康で幸せな問寒別へ”
 “問寒別ならではの誇りをつなぐ”
 ごちゃませ 多様性を発揮できる リーダーレス 楽しむ 背伸びしない 問寒別らしさ



基本計画（重点プロジェクト）

- I. ごちゃませプロジェクト
- II. 多様な住まいと住み続けプロジェクト
- III. 子どもは地域で育むプロジェクト
- IV. 自分ごと地域運営プロジェクト
- V. ずっと続く産業プロジェクト
- VI. 生活複合拠点プロジェクト
- VII. “当たり前”に新たな価値を吹込むプロジェクト



基本計画の推進方策

- I. 推進体制
- II. 具体的方策

現 状

社会状況

○価値観の転換(パラダイムシフト)、多様性の認知

- ・何もないことが価値
 - ・小さいことの価値
 - ・人のつながりが深いことの価値
 - ・自然など無償の価値
- >>>・上記価値観では、問寒別は都会に比べ非常に優れている

○新しい働き方の萌芽

- ・都会で働く必要性が薄れている

○今後のイノベーション(技術革新)

- ・自動運転・空飛ぶ自動車などの交通革命
- >>>・医療・生活利便施設などがなくても障害にならない
- ・DX、ICT
- >>>・田舎ならではの活用により産業、生活を維持

問寒別のネガティブな事柄

○人口減少・高齢化

- ・町内会活動や団体活動などの沈滞化(役員のなり手不足、役割の重複)
- ・インフラの維持など公共サービスや様々な地域運営の高コスト化
- ・除雪、草刈り、買い物などの暮らしの機能低下

○世代構成に偏り

- ・55歳以上は多いが45～49歳と10～24歳が極端に少なく、人材の継承が難しい

○基幹産業の酪農

- ・離農による地域経済循環の停滞、農地の維持困難、受入体制

○担い手不足(建設業、酪農業、地域活動)

- ・求人を公募してもこない(とにかくどこでも人がいない)

○雇用と住宅

- ・雇用があっても賃貸住宅不足で定住できない

○商店の維持

- ・JAの支援のQマートの持続性に不安

○徒歩生活者の移動の足

- ・現在の交通サービスの利用者は少ないが生活上不可欠(経営的には厳しい)

問寒別のポジティブな事柄

○転入ポテンシャルの上昇

- ・それなりの雇用があり、就労転入希望者がいる
- ・移住者による宿

○新たな起業、酪農の担い手

- ・新しい働き方により若者の問寒別での起業、農業回帰

○人の温かさやつながりが濃く、団結力がある、外からの人を受け入れる

- ・サークル団体活動が盛んで、楽しみや生きがいを見出している
- ・おひさま子育て会：子どもの遊び場、中学生の行事手伝い、お母さんの悩み相談
- ・自分たちでできることをやっいていこうとする開拓精神、自治文化が高い

○北大研究林による交流人口

- ・北大研究林には年間3000人が訪れている

○外の目の存在

- ・問寒別住民の一定程度は町外での居住を経験している

○住み続け意向

- ・多くの住民が住み続けを希望(85%R3ヒアリング)

○子どもは地域で育てる意識

- ・全世帯がPTA(準会員含む)に加入

○身の回りの良さがいっぱい

- ・秘境駅、静かさ、広い土地、空気がきれい、治安が良い、星がきれい、知駒岳の湧水、下平橋からのアカシア並木、研究林の中の8種のすみれ、アカエゾの群生、東京の孫が来るとのびのびと遊ぶ



課 題

○住み続けと幸福度

- ・最後まで問寒別に幸せに住み続けられる
- ・しょうがい者や高齢者など誰もが地域活動に参加できる

○若年層の移住・定住の促進と住宅供給

- ・若年層の雇用づくり
- ・若年者用の住宅供給
- ・空き家の利活用、管理

○持続的な産業

- ・酪農業の持続可能な事業継承
- ・地域のインフラを支える建設業の持続性確保
- ・産業の担い手（酪農、建設業、交通など）の確保
- ・問寒別の資源を活用した「起業」の促進

○新たな地域運営

- ・町内会の改善
- ・子育て、趣味、生涯学習などの地域活動の維持
- ・公共施設の維持(郵便局、**役場**支所)
- ・高齢者が健康で幸せになれる活躍の場
- ・プチ雇用の活用とのマッチング
- ・関係人口を巻き込んだコミュニティ形成（北大研究林、クマ研、鉄道愛好家など）

○生活複合拠点・ネットワークづくり

- ・拠点づくり（地域運営、コミュニティ、買い物、仕事、起業など）
- ・空き家・空き店舗のネットワーク化

○生活利便性の維持

- ・食料品・総菜の商店の維持、買い物支援
- ・飲食店・配食サービスの維持
- ・徒歩生活者の移動の足の確保



問寒別の輝く将来像

“小さいからこそできる輝く未来を子ども達へ”

“日本一、高齢者が健康で幸せな問寒別へ”

“問寒別ならではの誇りをつなぐ”

ごちゃまぜ、多様性を発揮できる、リーダーレス

その他ワードとして「楽しむ、背伸びしない、問寒別らしさ」

⇒次回11/8懇談会で議論

基本計画（重点プロジェクト[考え方]と[具体の取り組み]）

I. ごちゃまぜプロジェクト

【考え方】

- ・いろいろな人が交わり、みんなに地域での居場所や役割がある

【具体の取り組み例(目標)】

- ・いつでもみんなが気軽に集まれる **たまり**場づくり
- ・しょうがい者や高齢者など地域みんなの活躍の場づくり

II. 多様な住まいと住み続けプロジェクト

【考え方】

- ・働き方、住まい方の多様化への対応
- ・リタイヤしても車がつかえなくても住み続けられる

【具体の取り組み例(目標)】

- ・多様な働き方・住まい方に対応した住宅づくり（リモートワーク、ワーケーション、ワーキングスペースなど）
- ・地域生活交通などによる容易に外出できる移動の足の確保
- ・アグリコレクティブハウジング(研修生、農業リタイヤ者、若い後継者家族)+拠点施設

III. 子どもは地域で育むプロジェクト

【考え方】

- ・問寒別の自然やコミュニティを生かした地域みんなによる子育て

【具体の取り組み例(目標)】

- ・おひさま・ワラベンチャー問寒クラブなど問寒別独自の子育て活動の持続的展開
- ・地域みんながPTA

IV. 自分ごと地域運営プロジェクト

【考え方】

- ・きめ細やかで効率的な生活サービスを自分たちで実現
- ・儲かる仕事と必要な仕事を小さくてもごちゃまぜでやる

【具体の取り組み例(目標)】

- ・住民による地域インフラや生活サービスの運営（交通、公営住宅・空き家・賃貸住宅の管理、公共施設の管理、除雪、草刈り、町内会運営代行、イベント運営等）
- ・公共的機能の代替
- ・地域運営・活動の企画
- ・地域の情報収集と発信（空き家、雇用などを地区内は情報端末、地区外へはSNSなど活用）

V. ずっと続く産業プロジェクト

【考え方】

- ・地区全体が一つの会社の発想

【具体の取り組み例(目標)】

- ・人材の融通と仕事・サービスの共同化（共同配食、人材確保・育成など）
- ・新たな働き方による労働力の確保（プチビジネスハローワーク）
- ・土地の活用による共同果樹園（ブルーベリーなど）

VI. 生活複合拠点プロジェクト

【考え方】

- ・小さな**多機能**拠点とそのつながりで生活を支える
- ・地域住民や関係人口などみんなの居場所であり、情報の収集発信基地であり、活躍の場

【具体の取り組み例(目標)】

- ・既存施設の活用と空き家・空き店舗のリノベーションによる小さな**多機能**拠点づくり
- ・一体的管理によるネットワーク化

VII. “当たり前”に新たな価値を吹き込むプロジェクト

【考え方】

- ・いまあるもの（廃れるかもしれないもの）に価値を見出し、次世代につなげる

【具体の取り組み例(目標)】

- ・関係人口による良さの発見と地域内外への発信
- ・「といかん市」を使った地域の良さの再発見



基本計画の推進方策

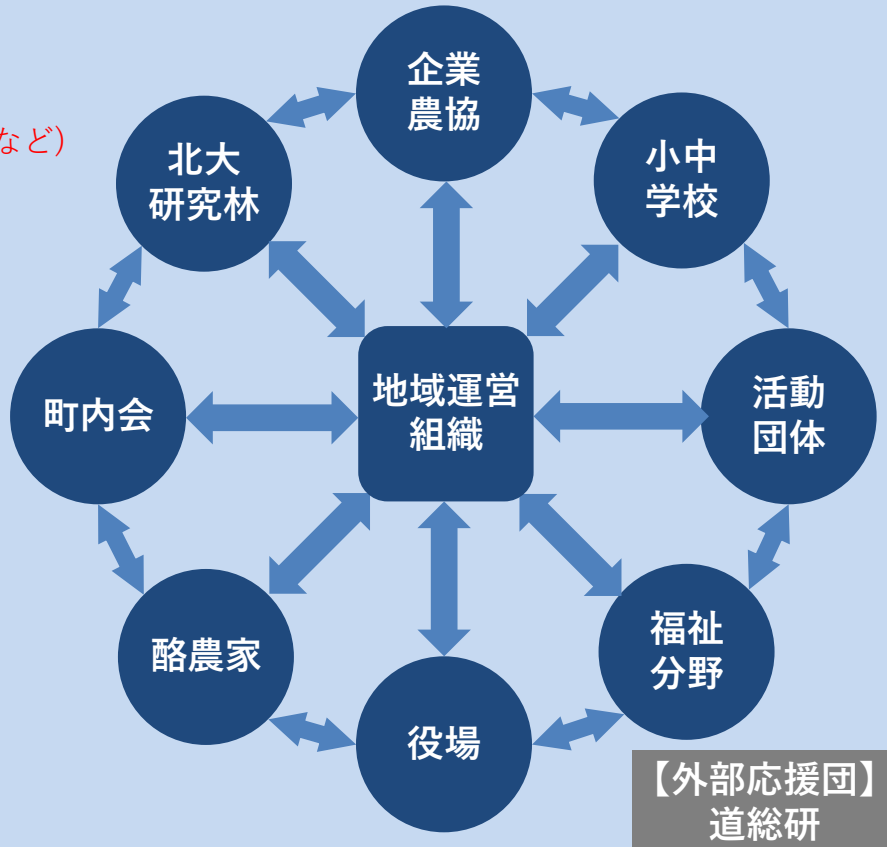
I. 推進体制

○地域運営組織の組成

- ・ 正職員
- ・ 様々な働き方
- ・ 地域おこし協力隊

○地域との連携(労働力、企画など)

- ・ 企業・農協
- ・ 既存の各種活動団体
- ・ 町内会
- ・ 小中学校
- ・ 福祉分野
- ・ 北大研究林
- ・ 酪農家
- ・ 役場



II. 具体の方策

- ・ 住民懇談会で自由な議論を継続する
- ・ 役場内集落対策プロジェクトチームによるアウトソーシング(棚卸作業)の推進
- ・ アイデアを実現するための社会実験の実施
- ・ 町内会機能のアウトソーシングの検討
- ・ 情報・活動の共有アプリの検討
- など